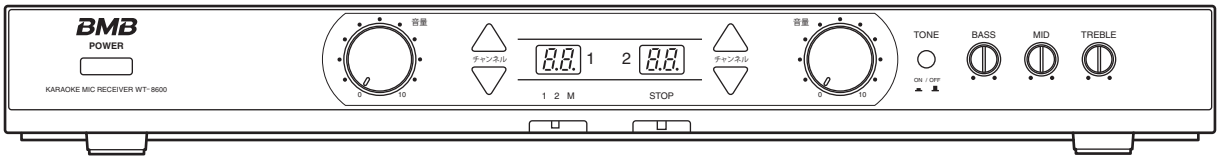
BMB
USEN GROUP

ワイヤレスマイクレシーバー

WT-8600

取扱説明書



このたびは、ワイヤレスマイクレシーバー WT-8600（以下、本機と表記）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくためにご使用の前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は保証書と一緒に、いつでも取り出せる場所に保管してください。

目 次

安全上のご注意…… 2
特　長…… 5
取り扱い上の注意…… 5
梱包内容…… 6
前面パネルの名称とはたらき…… 7
背面パネルの名称とはたらき…… 8
準備と接続…… 9
操作のしかた…… 11
その他の機能について…… 14
アフターサービスについて…… 15
故障とお考えになる前に…… 16
別売り機器の紹介…… 16
一般仕様…… 17

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意

警　告

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
●万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
●万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
●万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

●電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
●表示された電源電圧(交流)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●この機器を設置する場合は、壁から 10cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から 1cm 以上、背面から 5cm 以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災・故障の原因となります。

●風呂場では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

●雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電・故障の原因となります。
●この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。
●この機器を使用できるのは、日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・故障の原因となります。
●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電・故障の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電・故障の原因となります。

●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対はずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電・故障の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
●この機器を改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

注　意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器の上に 5kg 以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 本機の電源を入れる前には接続機器の音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害や機器の故障などの原因となることがあります。
- 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- 1年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

特　長

- 800MHz 帯のワイヤレスマイクを同時に 2 本使用可能です。
- ダイバーシティ方式のアンテナを採用により、マイクが移動しても電波が途切れることを極力防ぐことができます。
- アンテナを本機に直接取り付けても十分な性能を発揮します。したがって、アンテナの配線や配置を気にすることがありません。
- 音声の帯域圧縮と帯域伸張技術の採用により、より広いダイナミックレンジの確保が可能です。
- 同一エリアで使用されているチャンネルを調べるサーチ機能を持っております。あらかじめ運用されているチャンネルを把握することが可能です。
- マイクが本機から離れ過ぎて、発生するノイズ（バリバリ音）をノイズミュート回路の採用により、極力抑えることができます。
- PLL シンセサイザー方式の採用により、本機前面のスイッチを押すことで 30 チャンネルの切り換えが可能です。
- 部屋やマイクからの電波の強さに応じて、受信感度の切り換えを本機背面の受信感度切換スイッチで行えます。

取り扱い上の注意

次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体が近い場所
- 風通しが悪く、熱がこもったり、湿度やホコリの多い場所
- 振動や傾斜のある不安定な場所
- 窓ぎわで、雨などがかかるおそれのある場所
- 調理台のそばなど、油煙、蒸気、熱があたる場所

設置の際は、本機と壁もしくはラックとのスペースは、下図以上に離してください。

高電圧送電線の真下でのご使用は、誤動作やノイズ等の発生の原因になりますのでご注意ください。

お手入れ

本機が汚れたときは、やわらかい布でから拭してください。

汚れがひどいときは中性洗剤を 5 ～ 6 倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でから拭してください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますので、絶対にご使用にならないでください。

また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと本機表面が変質したり、塗装がはげたりすることがありますのでご注意ください。

接続上の注意

- 本機と各機器を接続する際は、本機および各機器の電源を切った状態で行ってください。
- 接続コードのプラグは、しっかり差し込んでください。接続が不完全ですと音が出なかったり、ノイズが発生する原因になります。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグ部分を持って抜いてください。

ダイバーシティ受信方式について

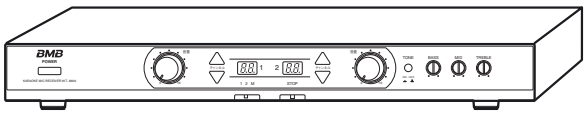
ダイバーシティ受信方式は、2 系統のアンテナを用い、常に受信状態の良い方へ自動的に切り換えています。このことでアンテナに直接入ってくる電波、また壁や天井に反射、もしくは遮られた電波など、受信状態が常に変化する電波にもより良く対応いたします。

したがって、ダイバーシティ受信方式の性能を十分に発揮させるためにも、必ず付属の 2 本のアンテナを正確に取り付けてください。付属以外のアンテナをご使用になったり、付属のアンテナ 1 本のみでご使用になりますと、ダイバーシティ受信方式の性能を十分に発揮させることができません。

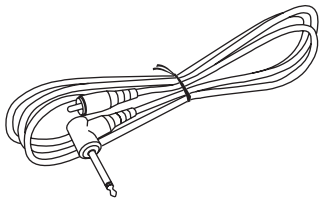
梱包内容

この梱包箱の中には次の物品が入っています。確認をしながら開梱してください。

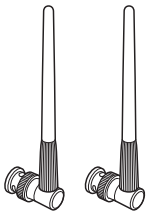
- ワイヤレスマイクレシーバー（WT-8600）（1 台）



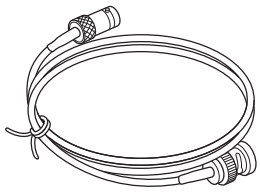
- アンプ用接続ケーブル・RCA ピン－ 6.5 φ プラグ（1 本）ケーブル長さ：1.5m



- アンテナ（2 本）

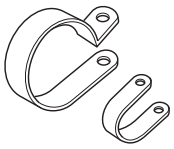


- アンテナ延長ケーブル（2 本）



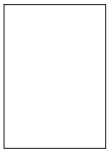
- クランパー用ネジ（2 本× 2）

- アンテナ延長ケーブル用クランパー（大）（小）（各 2 個）

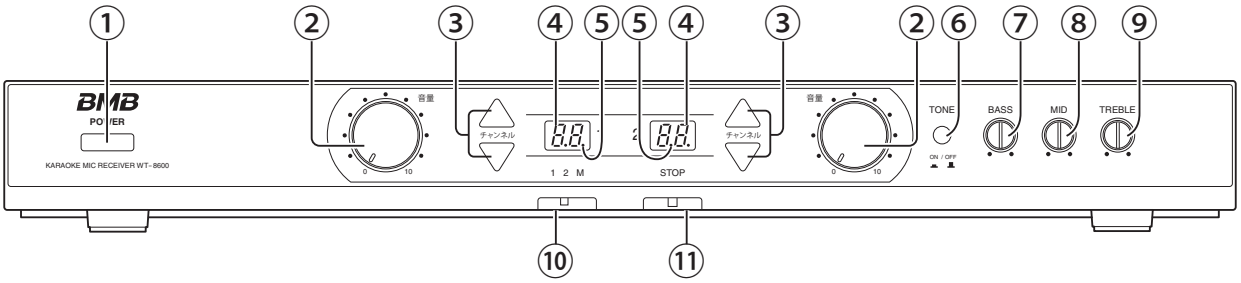


- 取扱説明書（本書）

- 保証書



前面パネルの名称とはたらき



① 電源スイッチ（入／切）
スイッチを押すと電源が入ります。
再び押すと電源が切れます。
電源が入ると表示部にチャンネルが表示されます。

② マイク音量調整ツマミ
ツマミを回してマイクから入力された音声をアンプなどに出力する際の音量を調整します。
右に回すと音量は大きくなります。
左に回すと音量は小さくなります。
通常、ツマミはセンター位置でご使用ください。
マイクを 2 本使ったときに音量の差が生じる場合は、このツマミを回して調整してください。

③ チャンネル変更スイッチ
スイッチを押してチャンネル番号を変更します。
変更方法の詳細は、12 ページ。

④ 表示部
グループ番号とチャンネル番号が表示されます。

⑤ アンテナインジケーター
表示部の内部に受信しているアンテナが表示されます。
アンテナ A または B の電波の強い方がそれぞれ点灯します。受信状態により、アンテナ A・B の表示が切り換わることがあります。

⑥ TONE スイッチ
スイッチを押すと低音、中音、高音の各音域のボリュームツマミを有効にできます。
このスイッチが押されていないと各音域のボリュームツマミを回しても、音質は変化しません。

⑦ 低音ボリューム
ボリュームを右に回していくと低音部分が強調されます。

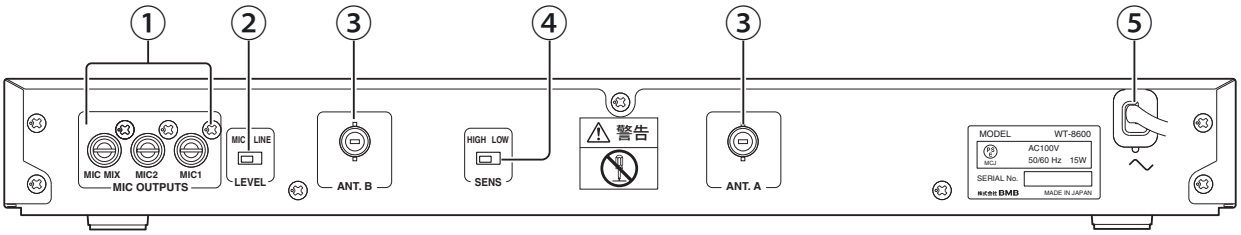
⑧ 中音ボリューム
ボリュームを右に回していくと中音部分が強調されます。

⑨ 高音ボリューム
ボリュームを右に回していくと高音部分が強調されます。

⑩ 空きチャンネルの検索スタートスイッチ
スイッチを 1 または 2 に合わせると合わせたマイク側の空きチャンネルの検索を始めます。
検索が終わった後は、必ず M の位置に戻してください。 1 または 2 に合っているとマイクが受信できなくなります。

⑪ 空きチャンネルの検索ストップスイッチ
スイッチを押して空きチャンネルの検索を停止します。

背面パネルの名称とはたらき



① マイク音声出力端子

マイクから入力された音声を出力します。
MIC 1 と MIC 2 からは、各々が独立した音声を出力します。MIC MIX からは MIC 1 と MIC 2 から出る音声をミックスして出力します。

② 出力レベル設定スイッチ

スイッチを切り換えて、マイク音声出力端子から出力レベルを入力先に合わせます。
本機に接続する機器の端子が、マイク端子の場合は MIC 側に切り換えてください。
AUX 等の端子の場合は LINE 側に切り換えてください。
出力レベルと入力側の端子が合っていないと、音声が出なかったり、音声の歪みやノイズが発生することがあります。

③ アンテナ接続端子

付属のアンテナを接続します。
付属のアンテナを A と B それぞれの端子に接続しないと、ダイバーシティ効果は得られません。
また、付属以外のアンテナを接続すると、受信感度が低下し、十分な性能を発揮できません。

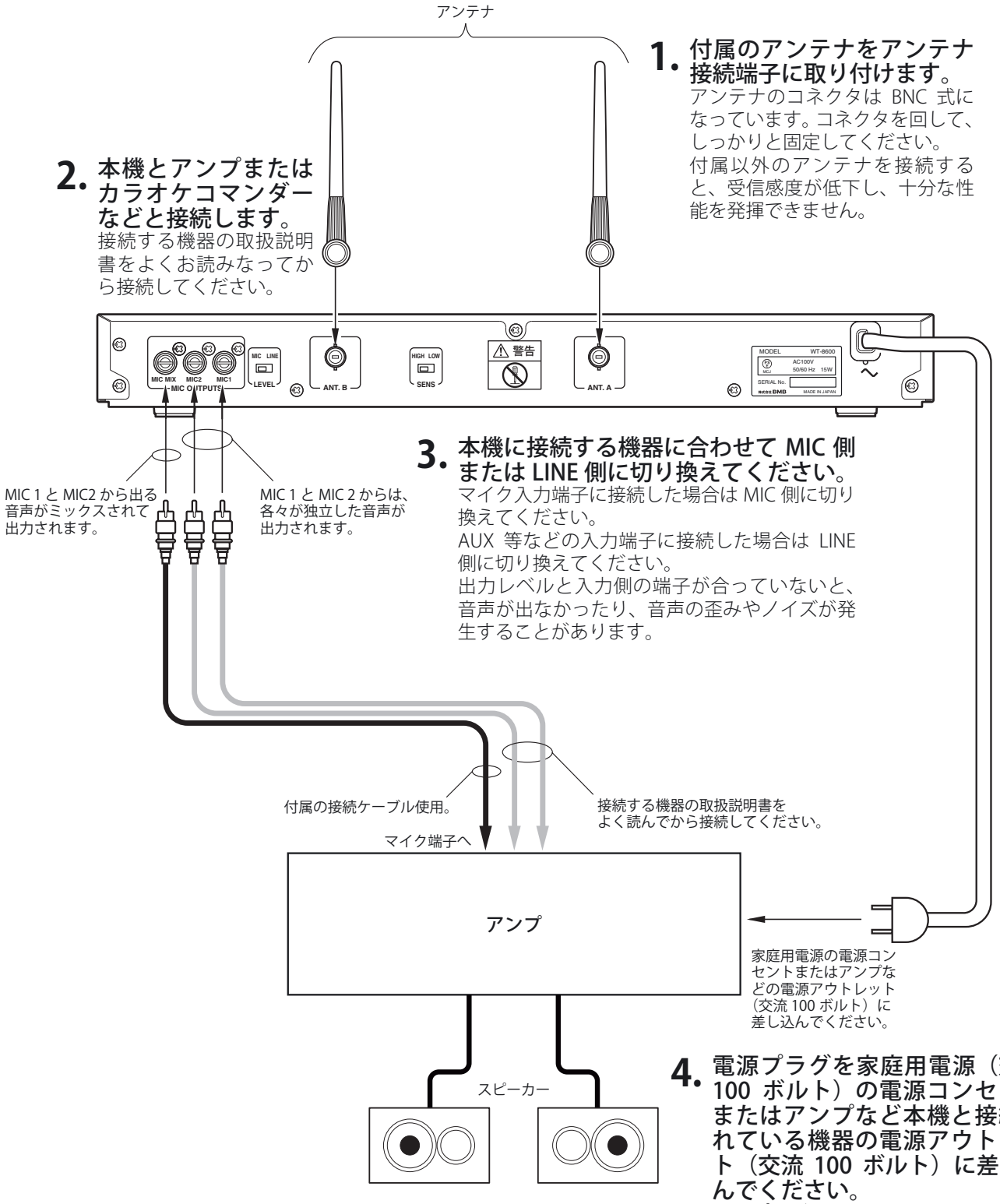
④ 受信感度切換スイッチ

受信感度を変更します。
本機を使用する部屋の大きさに合わせて、HIGH・LOW の 2 段階に受信感度を切り換えることができます。
切り換え方法の詳細は、14 ページ。

⑤ 電源コード

電源プラグを家庭用電源（交流 100 ボルト）の電源コンセントに差し込んでください。

準備と接続



1. 付属のアンテナをアンテナ接続端子に取り付けます。
アンテナのコネクタは BNC 式になっています。コネクタを回して、しっかりと固定してください。
付属以外のアンテナを接続すると、受信感度が低下し、十分な性能を発揮できません。

2. 本機とアンプまたはカラオケコマンダーなどと接続します。
接続する機器の取扱説明書をよくお読みなってから接続してください。

3. 本機に接続する機器に合わせて MIC 側または LINE 側に切り換えてください。
マイク入力端子に接続した場合は MIC 側に切り換えてください。
AUX 等などの入力端子に接続した場合は LINE 側に切り換えてください。
出力レベルと入力側の端子が合っていないと、音声が出なかったり、音声の歪みやノイズが発生することがあります。

4. 電源プラグを家庭用電源（交流 100 ボルト）の電源コンセントまたはアンプなど本機と接続されている機器の電源アウトレット（交流 100 ボルト）に差し込んでください。
アンプなどの電源アウトレットに接続する場合は、必ず本機の消費電力以上が供給できる電源アウトレットに接続してください。

■ アンテナを延長して接続する

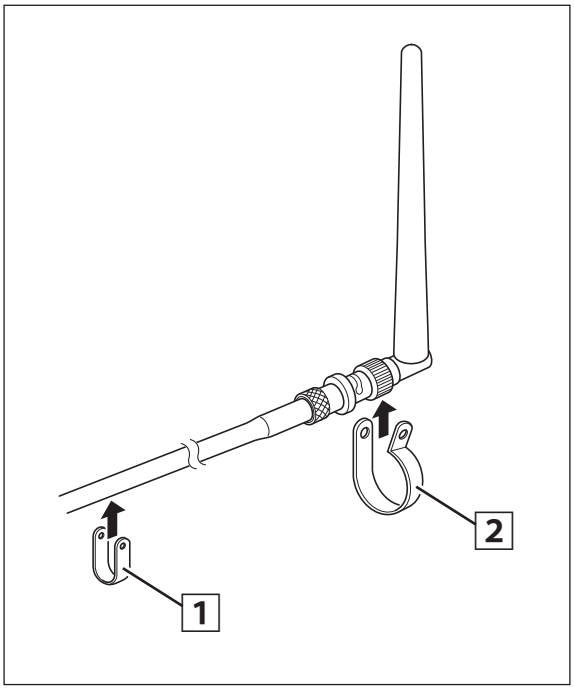
本機は、アンテナを直接本機背面のアンテナ接続端子に接続しても、十分に性能を発揮します。ただし、本機を設置する環境において、より良い受信状態を希望される場合は、付属のアンテナ延長ケーブルをお使いになり、最も受信感度が良くなる位置にアンテナを設置することができます。

注意）

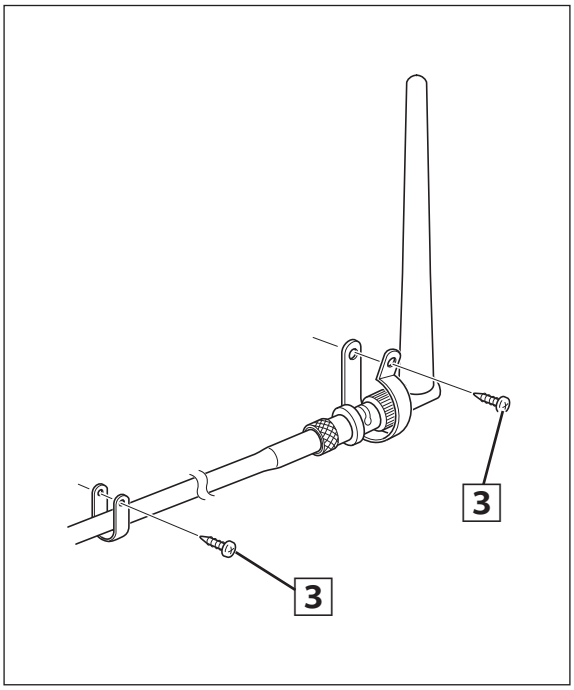
- アンテナを延長する際には、必ず付属のアンテナ延長ケーブルをお使いください。
  他のケーブルをご使用になりますと受信感度の低下や本機の故障の原因となることがあります。
  また、アンテナやケーブルを固定する壁等に十分な強度があるかご確認ください。

1 クランパーの小をケーブルの固定させたい位置に取り付けます。

2 クランパーの大をアンテナコネクター部に取り付けます。



3 付属のビスで壁等に固定します。
（壁の材質によっては付属のビスで固定できない場合があります。
その場合、取り付けにあったビスを別途ご購入ください。）

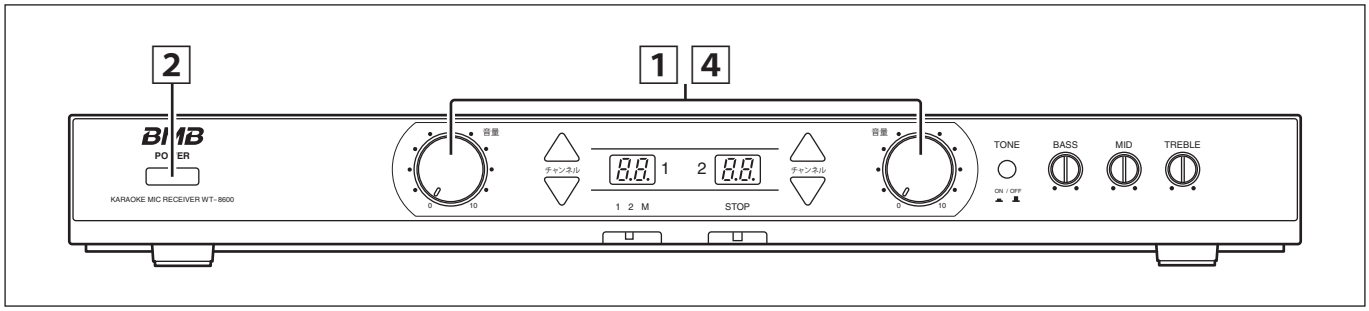


操作のしかた

■ 基本の操作

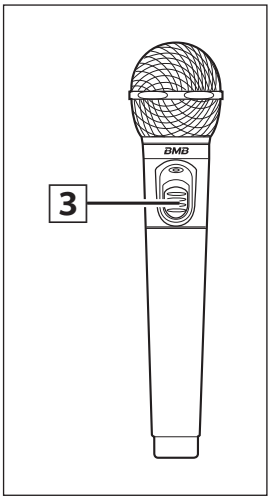
操作の前に、本機と各機器が正しく接続されていること、またマイクの電池残量が十分にあることを確かめてください。

1 それぞれのマイク音量調整ツマミを 0 に合わせます。



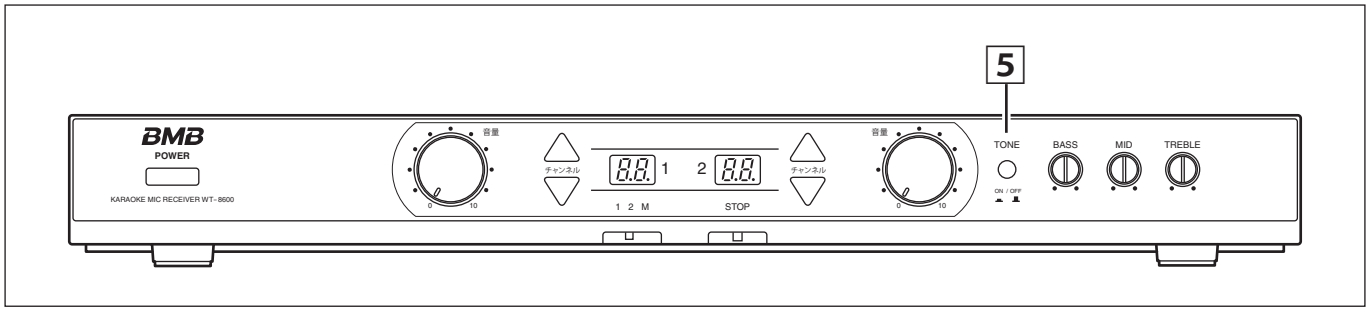
2 本機と本機に接続されている機器の電源を入れます。
電源が入ると表示部にチャンネルが表示されます。
再び本機の電源スイッチを押すと電源は切れます。

3 マイクのスイッチを ON にします。
本機がマイクからの電波を受信すると、チャンネル表示部のアンテナインジケーターの A または B が点灯します。
マイクを 2 本ご使用の際に、アンテナインジケーターが点灯しない、または A・B のどちらかしか点灯しない場合は、本機とマイクのチャンネルが合っていない可能性があります。
チャンネルが合うように、本機またはマイクのチャンネルを変更してください。
本機のチャンネル変更方法の詳細は、12 ページ。
マイクのチャンネル変更方法の詳細は、マイクの取扱説明書をご覧ください。



4 マイクの音量を調整します。
マイク音量調整ツマミを右に回すと、音量は大きくなります。
マイク音量調整ツマミを左に回すと、音量は小さくなります。

5 TONE スイッチを ▙ (OFF) から ▁ (ON) にすると、低音・中音・高音用のボリュームを回すことで周波数特性を変更することができます。TONE スイッチ ▁ (ON) から ▙ (OFF) にすると、周波数特性は変更できません。



■ 受信チャンネルの設定について

本機のチャンネルをマイクの送信チャンネルに合わせてください。
マイク 2 本（チャンネル）分が受信可能です。
本機とマイクのチャンネルが合っていないと本機は受信ができません。

チャンネル呼称について

3 つの英数字により使用周波数帯やチャンネルなどを表わしたものをチャンネル呼称といいます。
（右の表を参照）

チャンネル呼称	周波数（MHz）
B11	806.125
B12	806.375
B13	807.125
B14	807.750
B15	809.000
B16	809.500
B21	806.250
B22	806.500
B23	807.000
B24	807.875
B25	808.500
B26	808.875

チャンネル呼称	周波数（MHz）
B31	806.625
B32	806.875
B33	807.375
B34	808.250
B35	808.625
B36	809.250
B41	806.750
B42	807.500
B43	808.000
B44	809.125
B45	809.375
B46	809.750

チャンネル呼称	周波数（MHz）
B51	807.625
B52	808.125
B53	808.375
B54	808.750
B55	809.625
B61	807.250

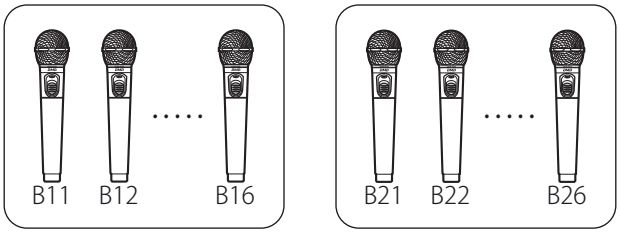
チャンネル呼称は次のように定められています。

例

B	1	1
	↑	↑
	a	b

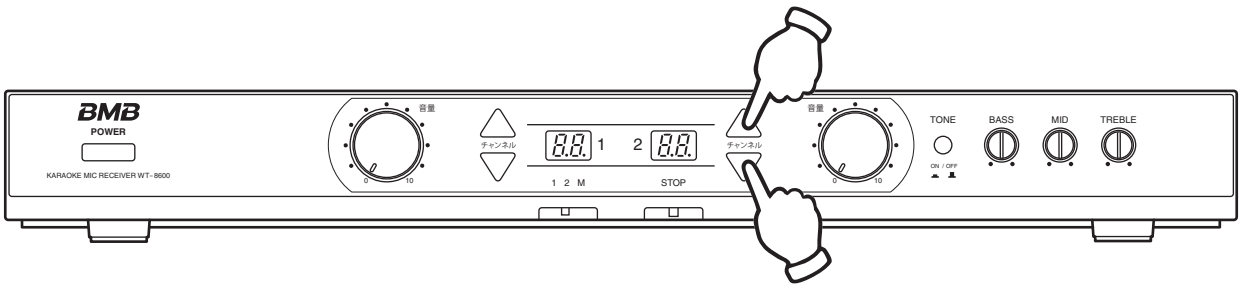
B： 周波数帯 800MHz 帯の特定小電力ワイレスマイクを示します。
a： 1 ～ 6 のグループ番号を示します。
b： 1 ～ 6 のチャンネル番号を示します。

【ヒント】
同一のグループ内では最大 6 チャンネルが同時に使用できます。



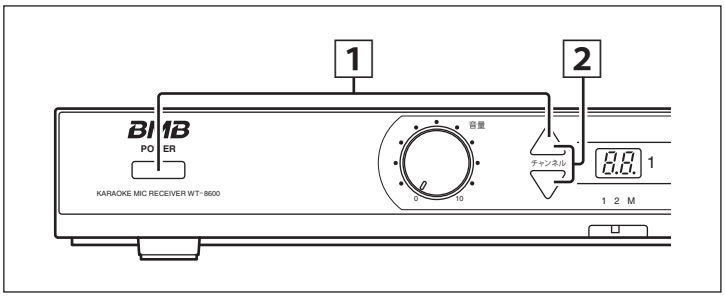
チャンネル設定方法

表示部右側のチャンネル変更スイッチを 5 秒間同時に押すと表示部が点滅します。この状態で▲キーまたは▼キーを押すとチャンネル番号の変更ができます。希望のチャンネル位置でキーより手を離すと点灯に変わり、有効になります。



11 ⇄ 12 ⇄ 13 ⇄ 14 ⇄ 15 ⇄ 16 ⇄ 21 ⇄

トーン周波数設定方法



1 一度電源を切り、▲のチャンネル変更スイッチを押しながら電源を入れます。

2 表示部に現在設定されているトーン番号が点滅しますので、チャンネル変更スイッチを押して、トーン番号を変更してください。
チャンネル変更スイッチを押す度に、03 ⇄ 01 ⇄ 02 と変化します。

3 変更した番号の点滅が止まったら、電源を切ってください。
電源を一度切ることで新しいトーン番号が設定されます。

トーン番号	トーン周波数	マイク型名		
01	38.4kHz	WM-800	WM-840	WM-860
02	37.7kHz	WM-850	—	—
03	32.768kHz	—	—	—

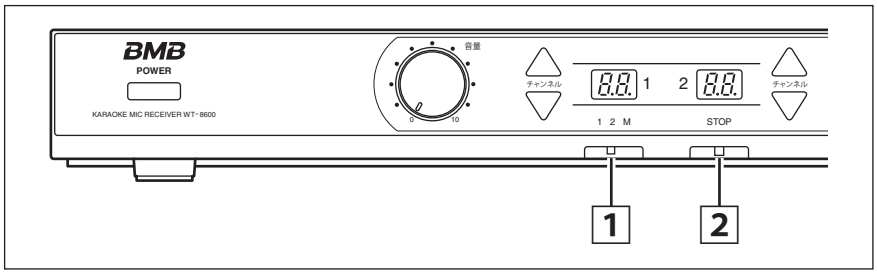
※ 38.4kHz が出荷設定となっております。

その他の機能について

■ 空きチャンネルの検索方法（サーチ機能）について

近隣で使われているチャンネルを検索することができます。この機能を使って使用可能な空きチャンネル番号を選択してください。

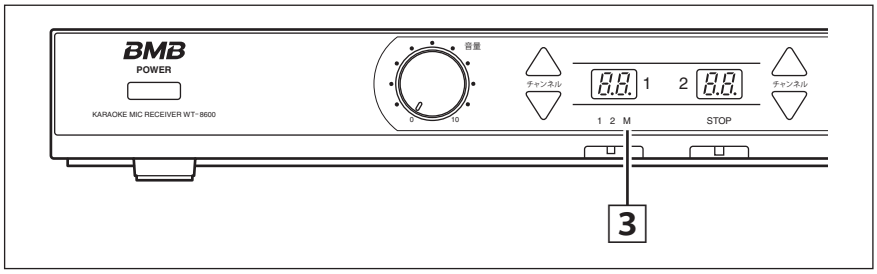
1 本機の空きチャンネル検索スタートスイッチを「1」または「2」に設定します。
例えば「1」に設定した際は、MIC 1 側の受信部がサーチ動作を開始します。
MIC 2 側は、そのままマイクの受信は継続されています。



2 STOP スイッチを押すとサーチ動作は一時ストップし、1 番若い空きチャンネル番号を表示します。▲または▼キーを操作することで、空きチャンネル番号が確認できます。
注意）STOP スイッチを押して、サーチ動作を一時ストップのまま放置しないでください。必ず空きチャンネル検索スイッチは「M」側に戻してください。

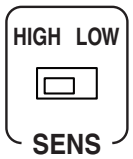
3 選択した空きチャンネル番号を有効にするには、空きチャンネル検索スイッチを「M」側に設定してください。
注意）空きチャンネル検索スイッチが「1」または「2」のままの状態では、マイクより音声を入れても正常に動作しません。空きチャンネル検索スイッチは必ず「M」側にある事を確認してください。

4 2で空きチャンネル番号を選択したまま放置すると表示器が点滅します。その時は空きチャンネル検索スイッチを「M」側に設定してください。



■ 受信感度の変更方法

本機を使用する部屋の大きさに合わせて、背面の受信感度切換スイッチを使って受信感度（SENS.）を切り換えることができます。



LOW： カラオケボックスなどの小規模でのご使用時に設定します。
（目安として、3 畳～ 6 畳程度の大きさ）
HIGH： ホールや大規模なお店でのご使用時に設定します。
（目安として、12 畳以上の大きさ）

アフターサービスについて

1．この製品には保証書を別途添付しています。保証書は「販売店、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ大切に保管してください。

2．保証期間はお買い上げ日より、6ヶ月です。正常なご使用状態で、この期間内に万一故障が発生した節は、お買い上げ販売店で保証書記載事項に基づき「無償修理」いたします。

3．保証期間経過後の修理

修理によって機能が回復できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

4．修理料金の仕組み

●技術料

故障した商品を正常に修復するための料金です。

●部品代

修理に使用した部品代金です。

5．修理をご依頼になる際は、お手数ですが「故障とお考えになる前に」をご参照になり、よくお調べくださいますようお願いいたします。

それでも異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源コードを抜き、お買い上げ販売店へご連絡ください。

機器のトラブルの時には

お客さまよりアフターサービスのご依頼があったときには、必ず下記の処置を行ってください。

●処置の内容

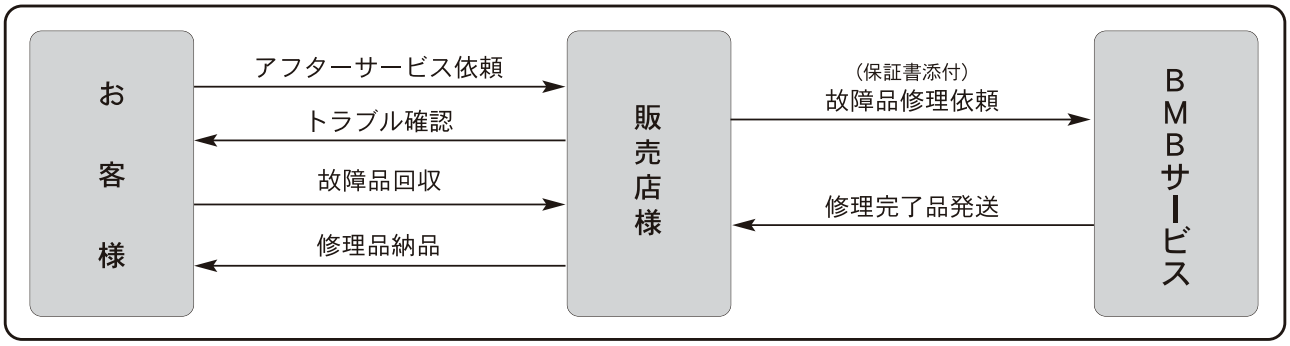
・トラブルの内容確認

・接続（ケーブルの取り扱い）関係のチェック

・取り扱いの注意、使用方法の指導

故障と判明したときには

販売店へご連絡ください。



愛情点検　長年ご使用の本機の点検を！

このような症状はありませんか？

電源コード、プラグが異常に熱くなる。
電源コードに深いキズや変形がある。
使用中に異常な音が出る。
電源を入れても正常に動作しない。
異常な臭いがしたり、意図しない煙がでる。
製品にさわると、ピリピリ電気を感じることがある。
その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず、お買い上げの販売店にご相談ください。

故障とお考えになる前に

故障かな？と思ったときは、修理をご依頼される前に下記の項目を確認してください。下記の項目を確認されても直らない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

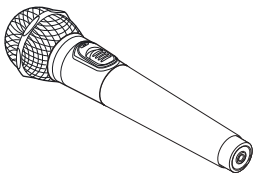
症　状	原　因	処　置
音が出ない	マイクの電池残量は、十分でしょうか？	マイクの専用充電池をご使用の場合は充電してください。乾電池をご使用の場合は交換してください。
	本機のトーン周波数とマイクのトーン周波数は、合っていますか？	トーン周波数が同じマイクを使ってください。マイクのトーン周波数の設定方法は、マイクの取扱説明書をご覧ください。
	本機とアンプまたはカラオケコマンダーは正しく接続されていますか？ また、アンプまたはカラオケコマンダーに接続されている機器は、正しく接続されていますか？	接続されている機器の取扱説明書をよくご覧になって、接続を確認してください。
音量が小さい	アンプまたはカラオケコマンダーの音量調整は、小さすぎませんか？	アンプまたはカラオケコマンダーの音量を適正にします。
	本機の音量調整は、小さすぎませんか？	マイク音量調整ツマミを右に回して適当な音量にします。
受信感度が悪い	アンテナは正しく接続されていますか？	付属のアンテナ 2 本を正しく接続してください。
	受信感度切換スイッチが “LOW” になっていませんか？	受信感度切換スイッチを “HIGH” に切り換えてください。

注意）

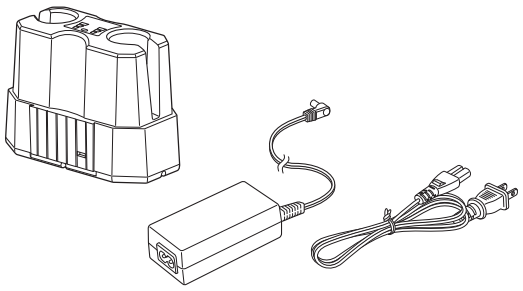
- 感度の切り換えは、実際にご使用になって、その場所にあった設定にしてください。
  なお、本機とマイクの距離は、見通し距離にして約 50m の範囲でご使用になれます。
- マイクからの電波を受信しているときに、本機の電源スイッチを ON/OFF すると、ポップスノイズが発生することがあります。
- 密集したカラオケボックス等のせまい環境下で、いくつもの 800MHz 帯ワイヤレスマイク使用すると、チャンネルが違っていても設定するグループにより、ノイズが発生することがあります。
  この場合、本機背面の受信感度切換スイッチを “LOW” に合わせてご使用ください。

別売り機器の紹介

- マイク WM-860



- チャージャー MC-860 ／ AC アダプター



一般仕様

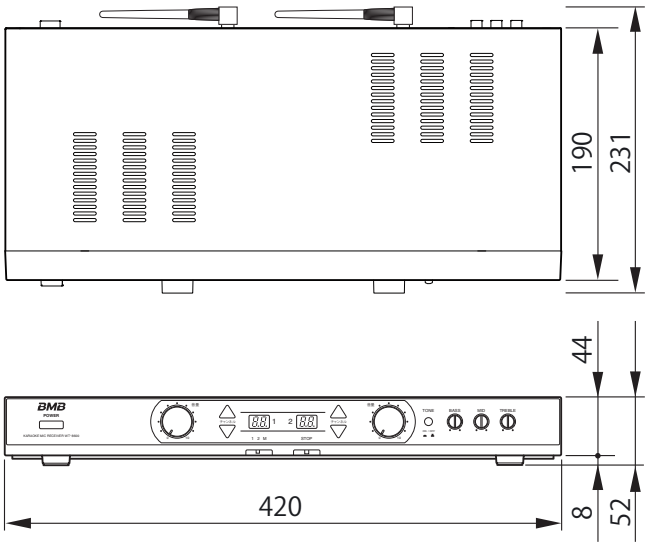
受信方式…… ダブルスーパーヘテロダイン
電波方式…… F3E
受信周波数…… 806.125MHz ～ 809.750MHz
変調方式…… 周波数変調
受信チャンネル…… 2 チャンネル
バンドチャンネル……30 チャンネル
ダイバーシティ方式…… 2 レシーバー
アンテナ入力…… 50 Ω（BNC コネクター）
出力レベル
　マイク…… 200 mVrms（3.3k Ω終端 40kHz 変調）
　ライン…… 600 mVrms（47k Ω終端 40kHz 変調）
周波数特性…… 50Hz ～ 12kHz ± 3dB
アンテナ入力……50 Ω
電源電圧……AC100V、50Hz/60Hz
消費電力…… 13W
動作温度…… -5℃～ +50℃
質量…… 2.8Kg
外形寸法（幅×高さ×奥行き）
　…… 420mm × 52mm × 231mm（突起物含む）

付属品

- アンテナ…… × 2
- 接続ケーブル（アンプ用）…… × 1
- 取扱説明書…… × 1
- アンテナ延長ケーブル（BNC-BNC） …… × 2
- アンテナ延長ケーブル用クランパー（大）…… × 2
- アンテナ延長ケーブル用クランパー（小）…… × 2
- クランパー用ネジ…… × 4
- 保証書…… × 1

※ 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

寸法図



（単位：mm）

メ　モ

BMB
USEN GROUP

株式会社 BMB

ご購入（据付）年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.

お客様へ…おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

Printed in Japan　2008/09　00M62AC851110